



## 自力でうごかしてみよう

段階	所要時間
中級	50分(中)



### 1. 心構え

- ・簡単なタイピングができる。

### 2. 材料

- ・梵天丸人数分・コンピュータ人数分・ケーブル 人数分・感想記入用紙人数分・まきもの言語人数分
- ・学習プリント(基本プログラムを書いた用紙かプロジェクターによるプログラムの投影でも可)・工夫少々

### 3. 作り方

今日の目標を確認させる。

各自の持ち物を確認させる。

まきものを起動させる。

ケーブルの接続方法を確認させる。

練習1を全員でゆっくり確認しながらまきものを  
作らせる。

「しまう」「ほんやく」「書き込み」「ホソ」の音を確認した後  
にスタートスイッチを押させる。

時間を決めて各自に練習を進ませる。

早く終わった子供には左まわりさせる等の応用課題  
を与える。

各自の取り組み終了後、まきもの言語の仕組みを一つ  
ずつ丁寧に解説する。

本時の感想を記入させる。

練習	: 1 のだん		
		ぜんしん	7. 7
練習	: 1 のだん		
		こうしん	7. 7
練習	: 1 のだん		
		みぎまわれ	7. 7
練習	: 1 のだん		
		みぎまわれ	7. 7
		じかん	50で: 2のだん
	: 2 のだん		
		とまれ	
練習	: 1 のだん		
		みぎまわれ	7. 7
		じかん	50で: 2のだん
	: 2 のだん		
		みぎまわれ	7. 7
		じかん	25で: 3のだん
	: 3 のだん		
		とまれ	

### 4. 味付け

かんたんな命令でも良いので、まず自分の思い通り動かす喜びを与えたいと考えた。子供によっては練習をこなすだけで、各自が勝手に考え  
・見本プログラム  
応用プログラムにチャレンジする子も見られる。もちろん、ぜんしんのみを使って友人と梵天丸同士、押し合い等をしている子供も見られる。この授業は子供の主体性を大切に、苦手意識を感じる子供を中心に机間巡視して解説を加えていくことが大切である。